

駅ナカアートプロジェクト2021

E K I N A K A A R T P R O J E C T

事業概要

「学・産・官」が連携し、大学生のアート作品で地下鉄駅構内を活性化する。

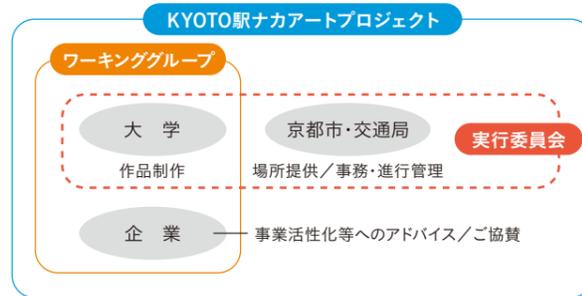
実施目的

- 人口140万人の大都市であり、年間5千万人の観光客が訪れる国際観光都市でもある京都。その重要な都市装置である「京都市営地下鉄」の「駅」のイメージアップを図り、地下鉄を魅力的なものとして活性化することで、活力ある京都のまちづくりに寄与すること。
- “大学のまち京都”ならではの取組として、芸術系大学の学生が中心となったアート作品の展開により、世界に誇る「文化芸術都市京都」確立への一助となること。
- 本事業を通じた「学・産・官」三者の連携・交流により、学生に対し、未来の京都を支える人材への成長の機会を提供すること。

実施駅及び参加大学

【大学名】	実施駅
京都精華大学	烏丸線 国際会館駅
京都工芸繊維大学	烏丸線 松ヶ崎駅
京都府立大学	烏丸線 北山駅
大谷大学	烏丸線 北大路駅
京都女子大学	烏丸線 五条駅
京都教育大学	東西線 六地藏駅
京都橘大学	東西線 柳辻駅
京都芸術大学	東西線 東山駅
京都美術工芸大学	東西線 三条京阪駅
京都市立芸術大学	東西線 二条城前駅
嵯峨美術大学	東西線 二条駅
嵯峨美術短期大学	東西線 太秦天神川駅

事業体制のイメージ



作品のテーマ

「Next…」

新しい日常、新しい常識
次にやってくる世界、次のステージ、向かうべき未来
コロナをきっかけに人々の日常が変わりつつある中で、みなさんはどんな未来の京都を考えますか？

実行委員会メンバー（令和元年11月28日設立当初）

【大学名・局名 五十音順：敬称略】	メンバー
大谷大学 教授	松川 節
京都教育大学 教授	丹下裕史
京都工芸繊維大学 名誉教授	山本建太郎
京都工芸繊維大学 准教授	西村雅信
京都女子大学 准教授	江口淑子
京都市立芸術大学 教授	藤本英子
京都精華大学 准教授	米本昌史
京都芸術大学 教授	都築 潤
京都橘大学 准教授	河野良平
京都美術工芸大学 教授	中井川正道
京都府立大学 准教授	河西立雄
嵯峨美術大学 教授	江村耕市
嵯峨美術短期大学 講師	西谷福朗
京都市交通局 高速鉄道部長	土田 稔
京都市文化市民局 文化芸術都市推進室	
文化芸術企画課 事業推進担当課長	川瀬清一郎

ワーキンググループメンバー

【大学名・企業名 五十音順：敬称略】	メンバー
大谷大学 教授	松川 節
大谷大学 講師	倉光延行
京都教育大学 教授	丹下裕史
京都工芸繊維大学 名誉教授	山本建太郎
京都工芸繊維大学 准教授	西村雅信
京都女子大学 准教授	江口淑子
京都市立芸術大学 教授	藤本英子
京都精華大学 教授	中川裕孝
京都芸術大学 教授	都築 潤
京都橘大学 准教授	河野良平
京都美術工芸大学 教授	中井川正道
京都府立大学 教授	河西立雄
嵯峨美術大学 教授	宇野和幸
嵯峨美術短期大学 講師	江村耕市
	西谷福朗
株式会社イシダ	有限会社画箋堂
京都信用金庫	京都地下鉄整備株式会社
株式会社サンエムカラー	株式会社ジイケイ京都
株式会社島津製作所	株式会社ボックス画材
ポノス株式会社	村田機械株式会社
株式会社リーフ・パブリケーションズ	

KYOTO 駅ナカアートプロジェクト 2021 感謝状贈呈式&ジョイントミーティング

日 時：令和3年11月12日（金）

場 所：キャンパスプラザ京都 第1講義室

京都の「大学」と「企業」と「行政」が一体となって取り組む様子をより多くの方々にご覧いただけるよう、例年は広場でのオープン形式で「感謝状贈呈式」と「ジョイントミーティング」を開催しています。今年度はキャンパスプラザ京都にて、「感謝状贈呈式」と「ジョイントミーティング」を開催し、門川京都市長から作品制作に当たった各大学の学生達にそれぞれ感謝状が手渡され、ジョイントミーティングでは、学生達が作品説明のプレゼンテーションを行い、各企業からご意見をいただくことができました。



今年の作品テーマ「Next…」について、学生たちが各々の感性に基づき相談、検討を重ね、一つひとつの作品を創り上げていきました。

国際会館駅：京都精華大学



チラシを制作し、思い出の写真を集めました。



プリントした布 18m、ここから1枚ずつカットしていきます。



カットし、刺繍を施した布を防災スプレーで防疫処理しています。



布1枚1枚に穴をあけ、設置に使うクリップを取り付けています。



布に取り付けたクリップを接着剤で補強しています。



駅にて設置作業、色のバランスを考えながら設置しています。

松ヶ崎駅：京都工芸繊維大学



ネジや木材の切断を行います。



加工したパーツを組み立てて、カーテンレールを設置するバイトの完成です。



カットした布をグラデーションに組み合わせて縫います。



切っておいたカッティングシートを貼ります。

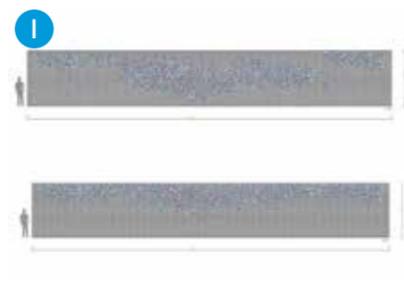


カーテンレールが水平になるように、バイトを設置します。



布を取り付けます。

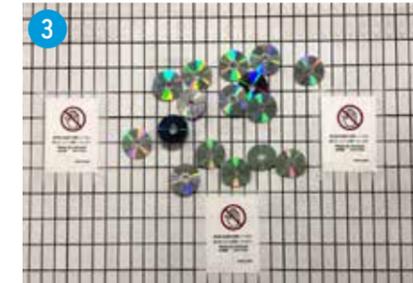
北山駅：京都府立大学



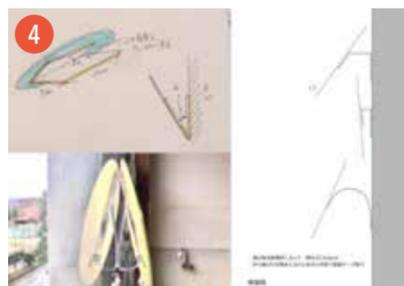
銀河のイメージから全体のデザイン案を検討しました。



ディスクの組み合わせパターンをいくつか試作しました。



駅構内に仮設置をさせて頂き、見え方、設置方法を確認しました。



仮設置で落下したものがあったので、設置角度と接着方法を再検証しました。



角度をつける土台はディスク一枚一枚に手作業で貼り付けています。



全体のバランスを見ながらデザイン案をもとに本設置を行いました。

北大路駅：大谷大学



QRコード制作に向けて図面制作中



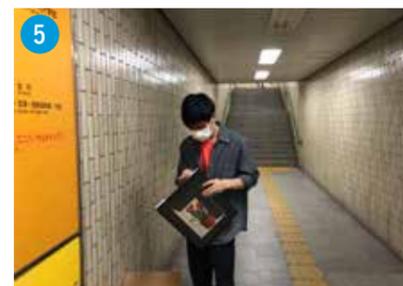
ショーケースでの展示で使用するコットンボール制作中



QRコードのパーツを貼り付け



展示に向けて駅構内の清掃作業



完成した作品の展示作業開始



現在進行中のピクセルアート

五条駅：京都女子大学



1 原画を描いて。



2 プリントアウト。



3 切って運んで登って貼って。



4 登って貼って。



5 とりあえず記念撮影。



6 おつかれさま記念撮影。

六地蔵駅：京都教育大学



1 ペイントソフトを使い、イラストを描きます。



2 大きなカッティングシートからパーツを切り出します。



3 上からオーガンジー、ウール、綿、リネンの順に4層の異なる素材を組み合わせて一つ一つ作ります。



4 出来上がったイラストを印刷したものを、両面テープで壁面に貼り付けます。



5 パーツをゆっくり貼っていきます。



6 布用の両面テープを用いてタイルに接着します。

栂辻駅：京都橘大学

[コロナ大作]



1 下地となる形をスチレンボードから切り出す。



2 スチレンボードにマスキングテープを貼る。



3 仕上げにレジンを流し込む。

[タチバナコレクション]



1 スチレンボードに下絵を描く。



2 全体の構成を検討する。



3 下絵の上にマスキングテープを貼る。

東山駅：京都芸術大学



1 学校の施設であるプリントラボを上手く活用し、シルクスクリーンという技法でビニールに印刷をしています。



2 ビニール印刷は全部で4mの長さを印刷し、インパクトが出るよう意識し制作に励みました。



3 今回のテーマである「カラフルのひまわり」の飛沫物を製作する上で、タフティングという技法にチャレンジしました。自分たちの可能性の視野を広げ可愛く出来上がったと思います。



4 実際に搬入をしてみるとカーテンレールの設置やモチーフの配置の仕方など、難しい場面が多数ありました。



5 図形などのモチーフがビニールというフィルターを一枚通し重なり合うだけで、普段皆さんが見たことのあるものへと、変形していくこの過程を表現しました。



6 メイン作品も完成しミラーシートで自分を映すことで、カラフルを飛沫させる中心核に自分がいると、錯覚できる仕組みになっています!!

三条京阪駅：京都美術工芸大学



1 どのような貼り方が美しく見えるかを実験します。



2 防災紙に印刷し、色を決めていきます。



3 紙の配置や貼り方を決めていきます。



4 切ってつなげた紙を丁寧に折っていきます。



5 表裏を考えながら貼っていきます。



6 斜めにしたり、曲線にしたりとアドリブで貼ります。

二条城前駅：京都市立芸術大学



1 宣紙に水を濡らして拓本をした様子。



2 拓本風景 1



3 拓本風景 2



4 自分で枠を作る 1



5 自分で枠を作る 2



6 駅に貼っていきます。

二条駅：嵯峨美術大学



1 羊毛フェルトで猫のパーツを制作しています。



2 キャットウォークにさまざまな色を塗ることで、駅の通路も明るく見えるようにしています。



3 キャットウォークに見立てた展示物を設置しています。



4 シールと羊毛フェルトのしっぽを合わせて展示している箇所もあります。



5 猫が壁の向こう側から覗いているように制作したシールを壁に貼っています。



6 全体の調節を行いながら作業しています。

太秦天神川駅：嵯峨美術短期大学



1 印刷したデザインが到着しました。



2 当日の作品設置について作業手順の打ち合わせをしています。



3 デザインをパネルに貼り切り出し作業をしています。



4 壁のタイルをドットに見立て、一枚一枚シールを貼りドットアートにしています。



5 ドットアートにキャラクターを設置しています。



6 チームワークで貼り付け位置を確認しながら設置作業を行います。

作品一覧

[実施駅及び参加大学]



[PR映像制作]

駅ナカアートプロジェクトのPR映像を大谷大学が制作しました。

PV (メイキングムービー)

各大学がどのような様子で作品制作に取り組んでいたか、また、各大学の完成作品の様子が伝わる動画に仕上げました。また、オープニング部分では、10周年ということも踏まえ、どんな駅ナカアートプロジェクトが見れるのかというワクワク感を感じていただけるよう工夫しました。サウンドは、2種類あり、10周年記念ということで各大学から歌唱者を選出して頂いたコラボレーションサウンドと松川ゼミ1、2回生が案を出し合い仕上げた、オリジナルサウンドとなっております。



コラボレーションサウンド ver.

▲大谷大学のYouTubeページにつながります。



松川ゼミオリジナルサウンド ver.

▲大谷大学のYouTubeページにつながります。

[展示期間] 令和3年9月22日～令和3年11月30日

[広報物制作]

京都美術工芸大学の学生が、担当の岡達也先生のご指導のもと、ポスター、パンフレット表紙等の広報物デザインを一手に引き受けてくれました。

キービジュアル・ポスター・フライヤー・サイネージ・フラッグ・トラフィカ京カード：吉田百花

「折り折ること」をコンセプトに、折った紙を撮影したものをメインビジュアルとして使用しました。

人々が祈りを込めて千羽鶴を折るように、私たちがコロナ収束への祈りを込めて紙を折る（アート作品を創る）様子を表しています。

BI ポスター



ポスターデザイン

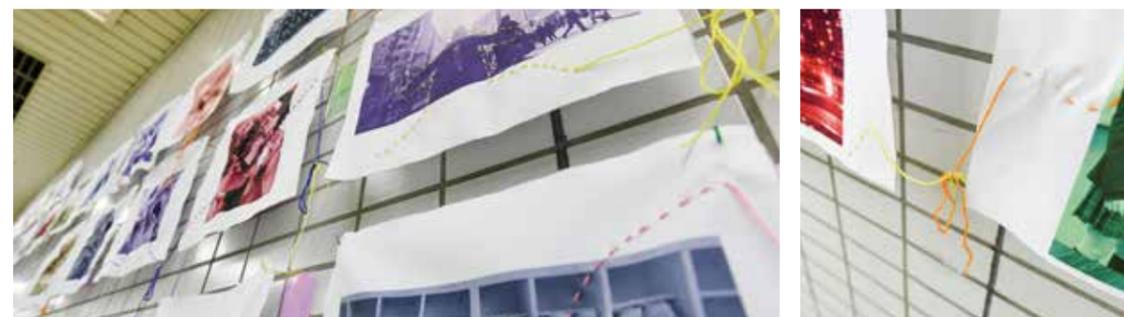
B3 ポスター



フラッグ・キャプションボード展示風景

作品名 Yesterday once more

制作者 | 加藤亜矢圭・小谷野初音・西村圭織・西村知生・藤原夕夏・牧田貴大・的野哲子
指導教員 | 中川裕孝



このような状況下になり、以前の日常が今となっては特別なものになりました。

「あの日々をもう一度過ごしたい」

そのような思いは、きっと皆の心の中にあると思います。

Next…未来とは過去の集積。という考えのもと、集めた過去の思い出の写真を布にプリントし、その1つ1つに刺繍を施しました。

伸びた糸は隣の糸と結びつき、連続性と繋がりを表現しています。

作品を見てどのような過去を想い、どのような未来がイメージされるでしょうか。

作品名 時間の境界

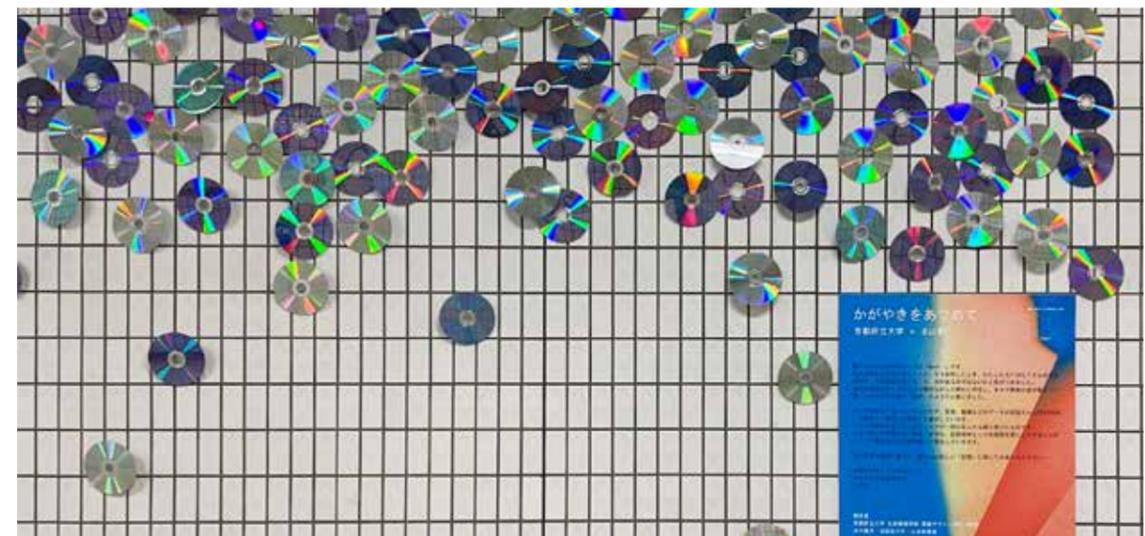
制作者 | 石川桐子・上原麻鈴・大原衣吹・三雲明依・代末奈菜・大崎優花・長井ゆい・舘岡浩志・仁尾紗希・中原稜将・衣笠恭平
指導教員 | 西村雅信



新型コロナウイルスにより、リモートワークやオンライン授業が日常化し、時間の流れの感じ方、考え方が大きく変化しています。閉鎖的な地下鉄駅に時間の流れを感じられる空間を提案します。
松ヶ崎駅には透過性のある仕切りが利用者の通りに面して設置されています。
仕切りに沿って空色にグラデーションされたカーテンを配置し、松ヶ崎の自然を表現したデザインをカーテンに透過させて、松ヶ崎の空を表現しました。皆様は色鮮やかな柔らかな空間を横断すると同時に、松ヶ崎の1日の時間の流れを体験していただきたいです。

作品名 かがやきをあつめて

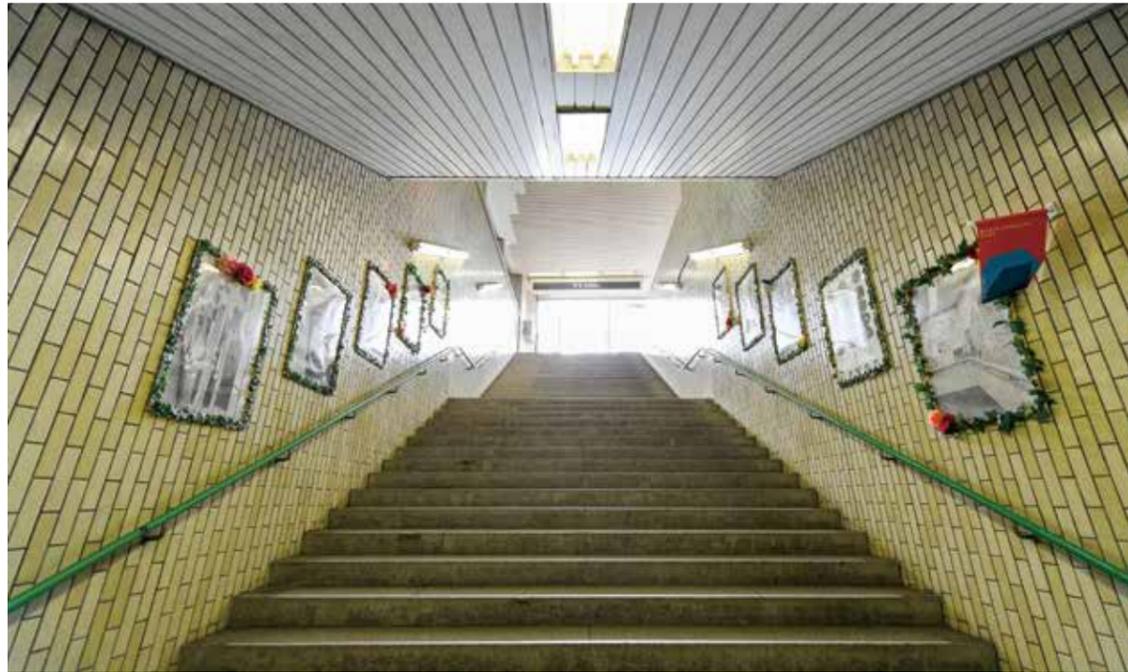
制作者 | 木村美月・浜田花乃子・山本有里菜
指導教員 | 河西立雄



駅ナカアート2021のテーマは「Next…」です。
Nextは明るい未来なのだろうか、そう自問したとき、私達にはたくさんの過去があり、その過去と向き合った先に、次があるのではないかと気がつきました。そして、過去の記憶のひとつひとつは曖昧ながらも確かに存在し、まるで無数の星が集まって美しいかがやきを放つ「銀河」のようだと感じました。
そこで本作品では、たくさんの文字、音楽、画像などのデータが記録されたCDやDVDを、かがやく「銀河」に見立てて展示しています。これらの使われなくなったディスクの一部は友人から譲り受けたものです。ひとつひとつ異なる「記憶」を持ち、記録媒体としての役割を果たしてきましたが、今回、集まることで次の姿へと変化しました。ぜひ写真や動画に撮って、皆さんの新しい「記憶」に残してお楽しみください。

作品名 Blooming

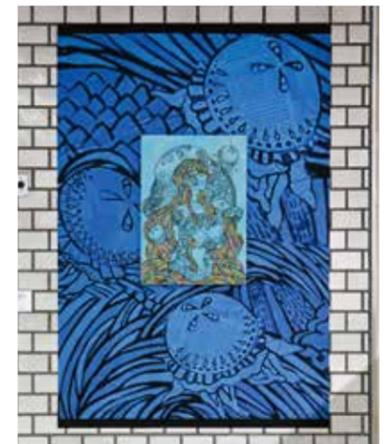
制作者 | 葛畑清香・島村優花・平良駿・中野圭梧・中村未悠・藤井尚汰・牧田祐人・松下竜弥・松村波瑠斗・松本健生・三河蒼太郎・若城有紗
 指導教員 | 松川節・倉光延行



コロナを「雨」、明るい未来を「花」と見立て、「雨降って地固まる」という言葉のように、雨は決してマイナスではなく、次に進むためには必要なことと捉え、雨が降ると、つまりコロナが流行すると、地固まって花が咲く、つまりオンライン等の情報技術の発展やコロナ終息後の明るい世の中が開ける、そういった意味を込めました。「花開く」という意味のBloomingの通り、少しでも前向きに、上を向いて明るくなれるような作品作りを心掛けました。

作品名 ミライの水族館

制作者 | 落合里香・釘宮響・久米菜月・塩田智美・田中美巳・藤澤真由・三木理紗子・山本梨那・和田優花・畔上心花・足立依央・小島定菜・櫻井和佳・澤田菜々美・谷沖茜・本小裕梨・馬淵凜・三好詩乃・八尾春香・山口小都・町田実奈美
 指導教員 | 江口淑子



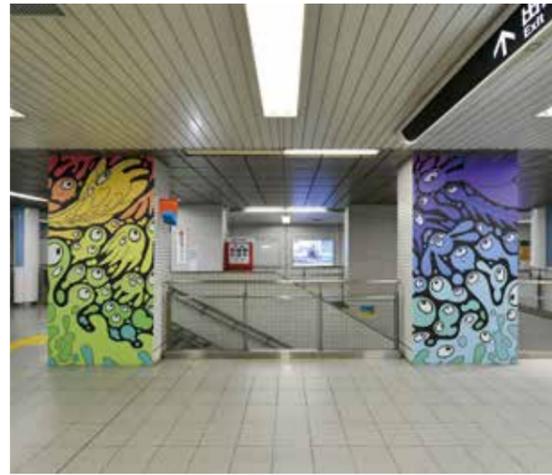
未来の駅は、多様な生物、動物、多国籍な人、混ざり合うネットワークの1つの通過点、時間と空間的なものが交わる優しい場所。人間同士の関わり、人間とそれ以外の生物との関わり、ロボットや情報の関わり、物理的な移動と、次元を超えた空間であると考え、駅に水族館をつくりました。

作品名 EVOLUTION

制作者 | 中辻椰々
指導教員 | 丹下裕史



色とりどりの生き物たちが進化していく姿を、感染症流行下の新たな生活様式に適応していく人々と重ね合わせて表現しました。地下鉄を利用する人々が希望を抱きながら地上に出て、それぞれの生活へ向かってほしいという願いを込めています。



作品名 Creating Power!!

制作者 | 森澤奈央
指導教員 | 丹下裕史



Creating Power!! とは「力を生み出す」という意味です。元気の力を生み出す装置のような物のイメージでデザインを考えました。この場所を通る人々が持つエネルギーを、明るく前向きな方向に増大させます。



作品名 風を感じて

制作者 | 宅間紗矢
指導教員 | 丹下裕史



ホームに電車がやってきた時、人と人がすれ違う時、様々な場面に応じて発生する風は私たちの身近な存在です。その風を肌と目で感じて頂けますように。



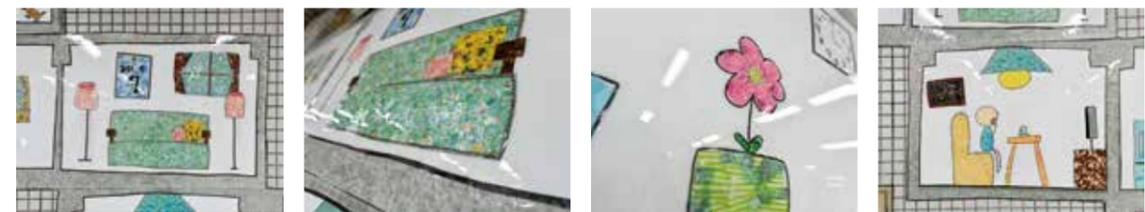
作品名 コロナ大作、タチバナコレクション

制作者 | 3回生 安藤菜桜・池上瑛望・岩田凜・大場未結・大橋末往・改森榛奈・川本里那・北川丹也・久保田柊・黒川瑞稀・黒木涼那・桑田萌・近藤真子・塩沢遥・田中真・中川朋香・中脇寿綺也・前田優美・松本絵里香・森田一良樹・山口航・岩下菜摘
2回生 糸井菜々美・大嶋彩子・大代海斗・押谷名純・岸本涼吾・木戸紗蘭・近藤智美・嶋津佑奈・下坂晃平・提中楓花・中島結花・西尾貞輝・畑中結風・原田マシュー・藤田智世・藤津はなか・松岡空・山田涼花・吉岡宏将・吉田蒼空
指導教員 | 河野良平

[コロナ大作]



[タチバナコレクション]



今年の作品は2つあり、一つ目は3回生の「コロナ大作」です。今年の初めに制作し、2〜3人が1グループとなって小さな作品を作り、後でそれらを合成するという制作方法を考えました。全体の統一感を出すため、自由な曲線で囲んだ小さな形にマスキングテープを貼っていますが、形や貼り方は各班で自由に考えています。小さな個性が集まって大きな全体を作るとなっています。

二つ目は2回生が担当した「タチバナコレクション」です。この作品は6月〜7月にかけて制作したもので、コロナ対策を行いつつ数班に分かれて制作しました。我々は普段、建築やインテリアについて学んでいるので、それをテーマにした作品を作ることになりました。日常生活の断面を表現しつつ、窓・扉や階段を設けることで外部へつながりそこへ進んでいく様子を描いています。

作品名 カラフルのひまつ

制作者 | 濱岡峻里・植田百香・米谷橙子・矢野晶子・リム美月
指導教員 | 都築 潤



私たちは飛沫という言葉にテーマに作品を作りました。この1年と半年、コロナ禍の中でこの言葉はとて暗く、シャットアウトされなければならないものとして使われています。しかし、それを逆にとることは出来ないかと考え、作品を通して言葉のイメージを変えるということに挑みました。この作品は、鏡に映った自分という感染源からたくさんの明るくかわいいモチーフが飛び出し、他の人に感染していく様子を表しています。私たち若者は、他の人から様々な影響を受け、そして与えています。コロナ禍においてもその新しい影響は止めないで欲しいという同じ若者へのメッセージを込めています。そして飛沫を防ぐビニールカーテンを引くと、壁面のモチーフが新しい意味を持ち始めます。ぜひ自分の手でカーテンを引いたり、写真を撮ってみたいり自分なりの方法で楽しんでみてください。

作品名 あの日へ。

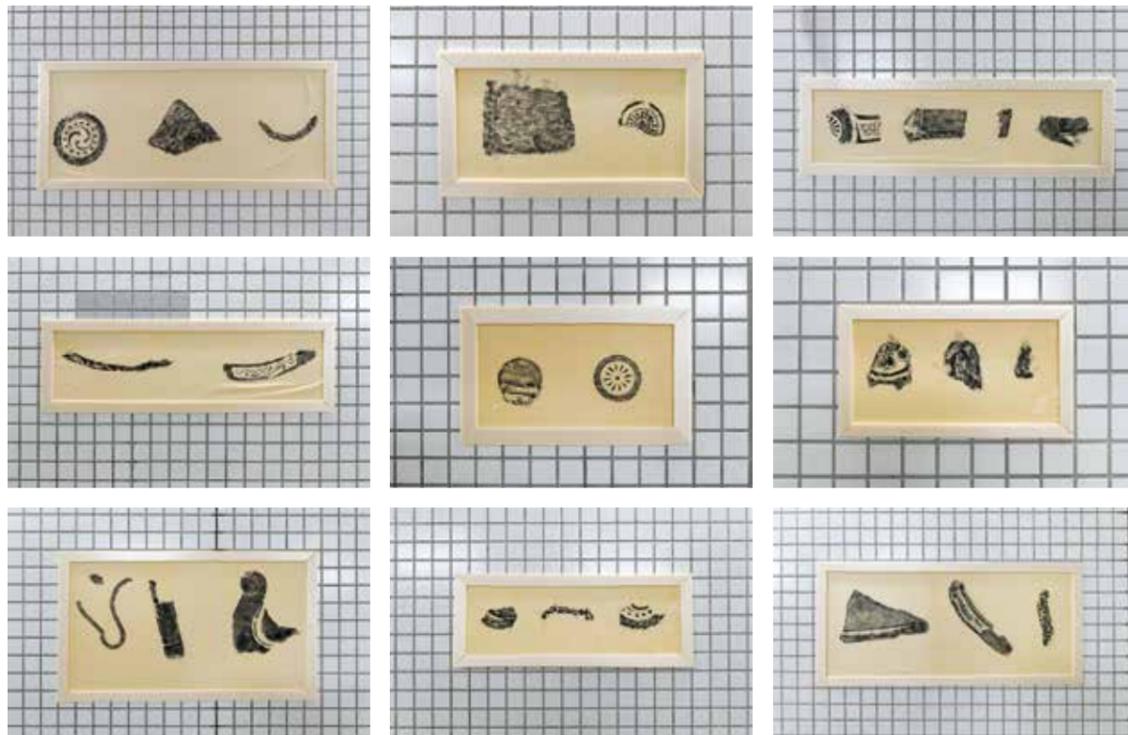
制作者 | 上仲理子・瀬川未咲・寺嶋修一・野村晋玄・橋本史之信・廣田唯衣・村上薫子・山城大志・山根ゆうか・吉田真奈・吉田百花・吉田暉介
指導教員 | 中井川正道・岡 達也



私たちは、2021年駅ナカアートプロジェクトに明るい未来の折りを込めました。この作品は、紙というありふれたものを繰り返し折り、光と影を生み出すことで「Next…」へ進む私たちを表現しています。友達と笑い合う。親戚に会いに行く。遠いところへ旅をする。当たり前だと思っていた、ありふれた日常。ありがたみがわかる今だからこそ、今までに感謝し、皆で協力し、あの日を取り戻したいと願ってきました。私たちの一つ一つの小さな折りには、その願いが込められています。「人生山あり谷あり」というように、紙を折ることで、人生の山や谷を、小さな折りが集まり、流れとなることによって未来に突き進んでいく私たちを表現しています。地下という空間に新たな風を吹き込み、この作品を見た方が、未来への希望を持っていただけることを願っています。

作品名 二条城の過去を遡る

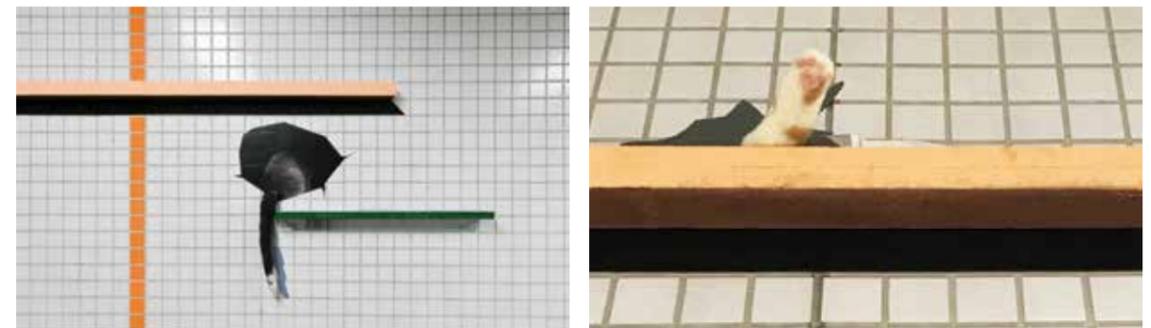
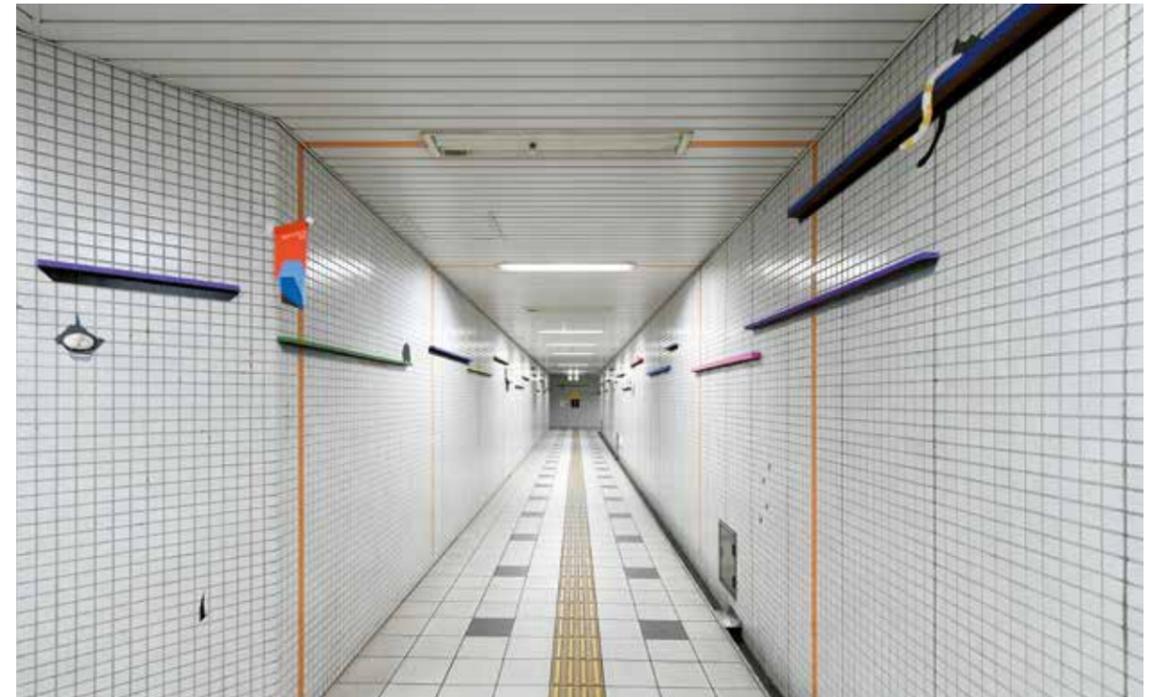
制作者 | 安子寒・郭璐璐・蔣愷若・徐敬真・王昱洁
指導教員 | 藤本英子



歴史遺跡物は時間とともに色褪せます。二条城の過去に遡り、二条城史跡歴史の構成要素一部としての物(軒丸瓦、軒平瓦)を選び、伝統的な器物の転写の方法の一つ「拓本」を用いて、瓦の像を保存しました。保存状態が良好な瓦から破損のある瓦までを選び、その状態を抽出することで、忠実に本質的価値を伝えることにつながればと思います。

作品名 壁の向こうは

制作者 | 森崎華林・孔祥珂・管思程
指導教員 | 宇野和幸・江村耕市



地下鉄二条駅「壁の向こうは」は、ネコの存在を示唆するように、キャットウォークに見立てた板とシールや羊毛フェルトのオブジェクトなどを長い通路にその痕跡として配置した作品です。シュレーディングターの猫の「箱を開けて確認するまで事象が確定しない」ということと、現在のコロナ禍における「さまざまな対策を努力し行なっているが、収束するかは時間が経過して結果が出るまでわからない状況」とを重ね合わせました。ちょっとしたユニークな仕掛けを生活動線である駅の通路に取り入れることで、コロナ禍の状況下でも前向きに頑張れるような気持ちになってもらうことや、SNS上でタグをつけて投稿・共有してもらうことで、発見する楽しさや繋がる喜びも感じてもらうことを目指しました。壁の向こう側の存在に対して不安に思うことや好奇心を持つことは、現在の私達が抱えている状態と重なり、人によって捉え方が変わる面白い作品になったと考えています。

作品名 明るく季節

制作者 | 池田春菜・磯本沙輝・傳刀舞乃・伴 実咲・伴李果子・地道輪夏
指導教員 | 西谷福朗



私たちはNext...という大きなテーマから日本の春夏秋冬を連想しました。現代という大きな流れだけではなく季節という小さい流れの中でも、日常においても、変化があるということをお忘れずに明るいNextの自分を見つけて欲しいと願いを込めた作品となっています。作品は京都である事にちなんで和柄を取り入れました。一人二種類の和柄を選び、そこからイメージできるキャラクターを考えました。キャラクターの周りに参考にした和柄模様をドットアートとして展示し、少し無機質さを感じる駅内を華やかにするように考えました。地下鉄に乗る最初の階段には階段アートを表示しています。階段アートは、その流れの中で次への確かな一歩を歩むことをイメージして制作しました。目的地への移動手段である駅ですが、ひとときの癒しを感じて頂ければ幸いです。

作品名 希望の光

制作者 | 吉田真奈・上仲理子・山根ゆうか・村上薫子
指導教員 | 中井川正道・岡 達也



作品のコンセプトは、新型コロナウイルスの影響により自由な日常を奪われた人々にむけて、少しでも明るく前向きな日々を過ごしてほしいという想いを込めました。デザインは左右両面とも希望の光を中心に、輝きと影が放射状に広がった様子を表現しています。どちらも明日の世界を常に求め続ける我々の、前向きな心を導く道程を示しています。車内広告のデザインは、心の励みとなる言葉と希望の線、光、折りで表現したビジュアルで、乗車時よりも気分よく降車していただけるように考えました。

KYOTO 駅ナカアートプロジェクト 2021 にご協賛いただいた企業



これまでの軌跡

■平成 23 年度

国際会館駅・松ヶ崎駅・北大路駅の 3 駅で実施
(参加大学) 京都工芸繊維大学・京都精華大学・京都府立大学

■平成 24 年度

国際会館駅・松ヶ崎駅・北大路駅・くいな橋駅・石田駅・柳辻駅・東山駅二条城前駅・太秦天神川駅の 9 駅で実施
(参加大学) 京都教育大学・京都工芸繊維大学・京都嵯峨芸術大学・京都女子大学・京都市立芸術大学・京都精華大学
京都造形芸術大学・京都橘大学・京都府立大学

■平成 25 年度

実行委員会を設立しての運営開始

■平成 26 年度

エコール・デ・ボザール(パリ国立高等美術学校)が参加し、京都嵯峨芸術大学と作品を共同制作
市バスアートを京都造形芸術大学が担当・実施
照明の設置(北大路駅・二条城前駅)
キーワードラリー及びアンケートの実施(オリジナルエコバッグのプレゼント)

■平成 27 年度

京都女子大学が市バス車体側面へのデザインアートを担当・実施

■平成 28 年度

鞍馬口駅で新たに実施
(参加大学) 大谷大学
京都女子大学がポスター等の広報物をデザイン
大谷大学が各大学のメイキング映像を制作・発表

■平成 29 年度

2 校が新たに参加
(参加大学) 京都美術工芸大学・嵯峨美術短期大学
新規参加や展示駅変更等により六地藏駅・三条京阪駅・二条駅の3駅で新たに実施
京都精華大学がPR紙管を製作し各駅の改札付近に設置

■平成 30 年度

京都美術工芸大学がポスター、PR 紙管等の広報物を担当
京都工芸繊維大学が市バス車体へのデザインアートを担当
大谷大学が制作したPR映像を地下鉄駅(北大路駅、四條駅、京都駅)のデジタルサイネージにて放映

■令和元年度

京都工芸繊維大学がポスター、PR 紙管等の広報物を担当
嵯峨美術短期大学が市バス車体へのデザインアートを担当
大谷大学が制作した PR 映像を地下鉄(四條駅)のデジタルサイネージにて放映

■令和 2 年度

京都美術工芸大学がポスター等の広報物、市バス車体へのデザインアートを担当
京都美術工芸大学が制作したPR映像を地下鉄(四條駅、京都駅)のデジタルサイネージにて放映
大谷大学が各大学のメイキング映像を制作・発表

後援



協力



【主催】 KYOTO 駅ナカアートプロジェクト実行委員会
(構成団体：参加 12 大学、京都市交通局、京都市文化市民局)

「駅ナカアートプロジェクト」に
関するお問い合わせ先
京都市交通局企画総務部営業推進課
075-863-5056 (平日 8:45-17:30)

